

激動の時代にも 力強く前進を



神奈川県内陸工業団地協同組合
理事長 歳原 博幸

だんち



だより

第99号

2023年(令和5年)1月20日発行



謹賀新年

組合員並びに関係各位の皆様、新年明けましておめでとうございます。お健やかに新年をお迎えになられたこと、心からお慶び申し上げます。新型コロナウイルス感染症の拡大は、いくつかの波を経ても収束する気配は感じられず、感染防止に努めながら経済活動を進めるといふ環境に少しずつ向かっている状況にあります。

また昨年は、日本だけでなく、世界が大きく揺れた年でもありました。2月にロシアによるウクライナ侵攻が始まり、原

油価格や原材料費が高騰するきっかけとなり、その後の急激な円安により、中小企業の経営が大きく圧迫される状況が続き、年末の日銀の政策転換発表があつても、先行き不安は解消できない状況であります。

一方、明るい話題としては、サッカーW杯カタール大会での日本代表の活躍でした。強豪国を破る大金星など、多くの人々が心を一つにして応援しました。遠い異国で奮闘する選手たちの姿は、日本の社会活動と経済活性化の大きなキッカケになったと受け止めて

新会館建設は順調に 時代に即し機能集約

また、現在の団地会館の老朽化に伴う新会館の建設についても、昨年の11月に着工し、順調に工事が進んでおります。

工事期間中は、駐車場の不足や騒音など、皆様にもご不便をお掛けしておりますが、ご理解とご協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。

新会館は、今年の春には完成する見込みであります。事務局機能や会議室を中心に機能を集約した会館を予定しており、

います。

こうしたなか、当組合の活動としては、昨年6月の通常総会は規模縮小・時間短縮による開催を招いて盛大に開催する新年の賀詞交換会は、遺憾ながら中止とさせていただきます。また、共同防災訓練や野球大会など、可能な事業について実施してまいりました。新しい年の始まりに、もう一度気持ちを締め、新型コロナウイルス対策を講じながら、激動の時代を力強く乗り越える工業団地として、各種取り組みを推進してまいります。

維持管理費や光熱費の削減にもつながる設計となっております。組合員の皆様の活動拠点として活用いただきたいと思ひます。

最後に、組合員の皆様・関係各位のご協力をお願いするとともに、皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

神奈川県中小企業団体中央会
会長 森洋

組合員並びに関係者の皆様、明けましておめでとうございます。お健やかに新春をお迎えになられたこと、心よりお慶び申し上げます。

その一方で、昨年2月に勃発したロシアによるウクライナ侵攻は、物価や原油価格の大幅な高騰を加速させ、歴史的ともいえる円安の進行とも相まって中小・小規模事業者の経営に重大な影響を与えています。コスト増の販売価格への価格転嫁、本格化する実質無利子・無担保融資の返済、経営者の高齢化が進む中での「事業承継」など、中小・小規模事業者が直面する課題は多岐にわたっています。今後、中小・小規模事業者が更に成長、発展していくためには、個々の自助努力に加えて、不足する経営資源の相互活用を図り、新商品や新技術の共同開発、販路開拓を行うなど、共助と団結の力で課題の解決に取り組むことが不可欠であり、中小企業連携の意義はより一層強まっております。

新たな年を迎え、本会としても、引き続き皆様と手を携え、皆様の現場からの声をいただきながら、大きな時代の変化を見据えて、さまざまな課題に果敢に挑戦する中小・小規模事業者、そして組合等連携組織の皆様を全力で応援していく所存であります。会員の皆様におかれましても、より一層の「連携」と「団結」で様々な課題を乗り越え、組合や構成員企業の発展に向けて、ご奮闘を賜りますようお願い申し上げます。結びに、会員の皆様の昨年に変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。本年が皆様にとりまして、明るい希望に満ちた、更なる発展の年となりますことを心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



本会では、地域経済の担い手である皆様、持続的な成長、発展に向けて、強固な経営基盤づく

りや生産性の向上を図っていただけるよう、多様な連携グループの組織化支援を始め、新分野への事業転換や経営革新、円滑な事業承継、DXの活用による業務効率化への支援など、組合の強化と経営改善に向けた「伴走型支援」を展開してまいりました。

本会では、地域経済の担い手である皆様、持続的な成長、発展に向けて、強固な経営基盤づく

災害に強い工業団地へ 共同防災訓練

昨年に続き感染対策に配慮して実施

情報伝達や備品を確認 災害対策本部も設置

当組合では、今年度も新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、共同防災訓練を昨年11月16日に実施いたしました。

コロナ禍前は、多くの会員事業所に「参加をいただいで実施していた訓練ですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、昨年度に続き、規模を縮小して行いました。

この日は、午後1時頃に大地震が発生した想定で訓練を実施いたしました。組合事務局や災害対策担当の役員らが団地会館に集合。団地会館の備品倉庫から折り畳み式のリヤカーを使い、必要な備品を迅速に運搬しました。密閉空間を避けた

め、団地会館エントランスに災害対策本部を設置しました。

災害対策本部では、厚木市・愛川町の危機管理担当課との無線連絡のほか、災害時の対応として、団地内を8つの地域に分け、それぞれの地域の被害状況確認なども行いました。

また、資機材の確認では、カセットボンベを使用する発電機を実際に使用し、非常用照明の点灯などをチェックしました。一昨年度から導入したこの発電機は、ガソリン式の発電機に比べ振動や騒音が少なく、注目されている備品です。万が一の際にスムーズに使用

できるように、セッティングや起動を確認しました。いまだ続くコロナ禍ですが、自然災害はいつ発生するかわかりません。感染と災害の同時発生など、様々な対策が必要になり、災害対策も例年通りとはいきません。当組合では、これからも「災害に強い工業団地」として、今後も災害対策についての体制づくりや、情報発信などに努めてまいります。



①



②



③



④

共同防災訓練の様子。①会館入口に災害対策本部を設置し、無線を使って被害状況を確認②③備品倉庫から折り畳みリヤカーで資材を運搬④カセットボンベを使った発電機の動作確認

事務局より

新年明けましておめでとうございます。新型コロナウイルスが発生し世界中に感染が拡大し始めてから3年が経過しようとしています。一向に収束の気配を見せず、経済活動や日常生活に大きな影響を与え続けています。組合員企業の皆さまにおかれましては、感染拡大対策を実施しながら企業活動を進める事にご尽力されていることと思います。

組合事業においても研修会や野球大会の再開、団地内道路での長時間駐車対策やゴミのポイ捨て防止対策など、組合の付加価値向上のための取組みに努め、新会館の建設にも着手したところです。新会館が完成した後はさらに組合活動の充実が図られることとなりますが、建設期間中は駐車場の不足などご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

今年度もウイルス拡大を防止しながらの経済活動の推進という困難な状況を組合員企業一丸となって取り組み、組合の付加価値向上に繋げていきたいと考えています。事務局一同、組合の発展と組合員企業の皆さまのご繁栄のため、努力を続けますのでどうぞよろしくお願いいたします。

新会館 着々と

今年春先の完成目指す

当組合では、建設から50年以上が経過した団地会館の老朽化に伴い、建て替え工事を進めています。昨年11月7日には、建設工事の安全を願い、建設予定地で厳かに地鎮祭が行われました。新たな会館は、現在の会館に隣接する駐車場敷地に建設され、事務局機能と会議室を備えた1階建て。今年春先の完成を予定しています。なお、旧会館は新会館の完成後に取り壊す予定となっています。工事期間中は、駐車場が限られるなど皆様にご迷惑をおかけしますが、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



基礎工事が順調に進んでいます



昨年11月に行われた地鎮祭

